

# 静岡市 西奈児童クラブ 古代体験レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年8月2日（木）



8月2日（木）静岡市西奈児童クラブの皆さんが来所し、展示室の見学と古代体験に挑戦しました。図鑑などでしか見たことのない本物の出土品に興味気味、身を乗り出して見学する姿も見られました。

古代体験では、テラコッタ粘土を使った「はにわ（土製品）作り体験」と「弓矢による狩猟体験」に取り組みました。

## はにわ作り体



土製品とは、土製の素焼きの出土品です。縄文弥生時代には土偶や動物形や人面をかたどった土器や古墳時代の古墳上に並べられた埴輪（はにわ）が知られています。静岡県では西部、中部を中心に「馬」のような形の動物をかたどった動物型土製品や「人間」をかたどった「人型土製品」が発掘されています。いずれも祭祀（お祭り）に関連して作られたものではないかと考えられています。

高温で焼かなくても素焼きの味わいのままに硬化するテラコッタ粘土を使って、土製品作りに挑戦しました。



夢中になって取り組みました。  
ついに、個性豊かな作品が完成しました。



## 弓矢狩猟体験



狩猟の道具、弓矢を体験しました。  
簡単そうに見えてなかなか難しい弓矢。熊や猪に似せた的めがけて、弓で矢を射るのですが、なかなか矢が飛んでくれません。